

## 平成 23 年度事業報告書

平成 23 年度は定款 4 条に定められた事業を下記の通り実施いたしました。

本協会が実施している助成事業（演劇の関係者への助成金交付、海外研修者に対する助成、脚本家養成に対する助成）、普及事業（半額観劇会）及び調査事業等の公的事業活動は充実し、演劇の振興と普及を図るという事業目的は達成いたしました。

### I 助成事業

#### （1）演劇関係者への助成金交付

演劇興行および演劇製作に寄与した団体または個人の功績をたたえ、表彰する助成金交付は、委員会の答申を受け、常務理事会における審議の結果、本年度は下記の三氏が承認されました。表彰式は平成 24 年 3 月 21 日（水）午後 2 時から、東京會館に理事、監事、委員に出席いただき、大谷会長から各表彰者に助成金と賞状を贈呈いたしました。

#### （受賞者と授賞理由）

##### ① 後藤 芳世 殿

昭和二十九年に長谷川大道具に入社以来、歌舞伎舞台背景画の製作を数多く手掛けられ、長年に亘り責任者として、現在も第一線で製作に携わりながら、多くの後継者を養成されてこられました。また、日本画家としての研鑽と経験をもとに、舞台美術の元となる道具帳の製作にも取り組まれています。過去の道具帳の復元から新作歌舞伎・舞踊や襲名・追善公演での口上道具や祝幕まで手掛けた作品は幅広く、独創性のある美術で高く評価されています。

歌舞伎の美術に大きな功績を残してきたと同時に、後輩の育成にも尽力されてこられたことを讃え、今後一層の活躍を願って推薦するものです。

##### ② 竜 真知子 殿

音楽業界において、キャンディーズの「ハートのエースが出てこない」、狩人の「あずさ 2 号」、サーカスの「Mr. サマータイム」などの作詞で、常に業界の第一線で活躍されてきました。演劇界においても、「イーストウィックの魔女たち」「ダンス・オブ・ヴァンパイア」「シェルブールの雨傘」「三銃士」など、海外ミュージカルの訳詞を担当され、海外の傑作ミュージカルを日本へ広めるすぐれた架け橋となってこれられました。さらには、日本発信のミュージカル「ゲードリッヒ 生きた愛した永遠に」で原案・作詞も手掛けるなど、その熱意あふれる創作活動による日本演劇界への貢献を高く評価し推薦し、ここにその功

績を讃え、今後の一層の活躍を願って推薦するものです。

③ 塩田 明弘 殿

ミュージカル指揮者として、ブロードウェイでの文化庁派遣芸術家在外研究員としての経験を生かし、ミュージカルや各種コンサートの音楽監督を務める傍ら、軽妙な語り口で行われるトークショーは、多くのミュージカルや音楽ファンから高く支持されております。また、あなたの指揮は、躍動的であり、ステージと観客の一体感を創り出す新たなスタイルを確立され、ファンの拡大に貢献されました。近年の日本ミュージカル界の隆盛に大きく寄与されたことを高く評価し、今後の一層の活躍を願って推薦するものです。

(2) 海外研修への助成

本年度の海外研修は、昨年引き続き研修志望者を募り、各自が日程、行動を事由に設定し（協会は往復の航空運賃、宿泊費を支給）、滞在中は各自が責任行動する方法で実施いたしました。本年はニューヨークに 13 名、ロンドンに 5 名が赴き、参加者総数は 18 名となり、21 回の延べ人数は 423 名となりました。

(3) 新人脚本家養成のための助成

今年度も引き続き「脚本家養成講座」を開講し、「初心者コース」11 名、「マスターコース」13 名の計 24 名が受講いたしました。通常の講義以外に、各分野の講師を招いた特別講義を 1 回実施いたしました。また、マスターコースの受講者の作品より、優秀作を 1 作品選出し、役者による試演会を実施いたしました。演劇の基盤を広げるためには優秀な脚本が求められます。演劇の脚本は一朝一夕に生まれるものではなく、長期的な養成が必要であります。継続して講座を維持してまいります。

## II. 普及事業

東京都、財団法人東京都歴史文化財団、財団法人都民劇場、大阪府、独立行政法人日本芸術文化振興会、財団法人名古屋市文化振興財団、財団法人福岡市文化芸術振興財団と本協会とで共催している半額観劇会は、低価格で質の高い舞台芸術を鑑賞する機会を提供する事業として、都民、府民、市民から幅広く支持され、演劇人口の裾野を広げております。

本年度は、加盟 11 劇場及び 1 社の協力を得て、東京地区 5 回、大阪地区 6 回、名古屋地区 3 回、福岡地区 10 回の合計 24 回実施いたしました。

東京地区	28,069 人	165,368,450 円
------	----------	---------------

大阪地区	62,868 人	389,995,220 円
名古屋地区	9,933 人	55,820,250 円
福岡地区	1,368 人	10,017,750 円
合計	102,238 人	621,201,670 円

なお、平成 23 年 4 月、東京都、財団法人東京都歴史文化財団、財団法人都民劇場、大阪府、独立行政法人日本芸術文化振興会、財団法人名古屋市文化振興財団、財団法人福岡市文化芸術振興財団と本協会とは、普及事業に関わる協定書に調印いたしました。また、財団法人名古屋市文化振興財団、財団法人福岡市文化芸術振興財団と本協会とは、普及事業に関わる取り扱い手数料について覚書に調印いたしました。

### Ⅲ. 会報の発行

協会の事業及び情報の周知を図るため、会報 40 号、41 号を発行いたしました。会報は会員、賛助会員、所轄官庁、関係団体、演劇評論家、演劇記者、業界紙、舞台関係者等々に配布いたしました。

### Ⅳ. 調査事業

本年度はロンドン劇場協会が作成した加盟 51 劇場で実施された一年を通じたボックスオフィスデータの調査結果とロンドン劇場協会提携会員の 11 の準会員劇場の主要事項を内容としている「Box Office Data Report 2009」を入手し、演劇関係者の参考資料として翻訳、編集しました。

### 報告事項

1. 一般社団法人 日本音楽著作権協会（JASRAC）との交渉を継続して行う。
2. 総務省とワイアレスマイクの周波数帯域移行問題の交渉を継続して行う。
3. 劇場等演出空間運用基準協議会による、「劇場等演出空間の運用および安全に関するガイドライン 2012 年版」の作成に携わりました。
4. 委員の異動
  - 平成 23 年 4 月 帝国劇場支配人・阿部聖彦氏就任、田島尚史氏退任
  - 平成 23 年 5 月 新橋演舞場支配人・船越直人氏就任、西村幸記氏退任
  - 大阪松竹座支配人・吉浦高志氏就任、牧原広幸氏退任
  - 南座支配人・国越稔弘氏就任、飯島義裕氏退任

#### 5. 委員会の開催

協会加盟劇場の支配人を委員とする委員会は、協会の事業活動方針を審議するために、平成23年度は3月、6月、9月、11月の4回開催いたしました。